



園長だより

いっしょに楽しむ子

令和7年2月26日
富士市立昭和幼稚園

立春を過ぎ、暦の上では春の訪れですが、まだまだ厳しい寒さが続いています。そのような中、先週の5日間、昼食後に“お話たんけん”の時間を設けました。ひよこ組、さくら組、青組、ことばの教室、職員室で先生方が絵本の読み聞かせをし、子どもたちは自由に聞きたいお話を選ぶことができます。面白そうな絵本、行ってみたい部屋や先生を選べるのが、とても楽しかったようです。



ひよこ組



節分の豆まきを前に、青組の鬼たちがひよこ組に乱入！驚いて窓際まで逃げ込みましたが、泣く子はいませんでした。おかげで、本番の豆まきには、大きな青鬼に立ち向かい、「鬼は〜外！」と鬼退治に成功しました。自分の心の中の鬼も追い出し、皆、良い子になることができました。また、最近、製作遊びに夢中になっています。カメラやメガネなどを作って大喜びです。

さくら組



新土先生の“サイエンスショー”では、巨大な空気砲の煙玉が、さくら組の子どもたちの頭上を通過。空気の力に興味津々で、様々な実験に瞳を輝かせていました。元気一杯な子どもたちは、節分の豆まきでも大活躍でした。皆で力を合わせ、新聞紙で作った豆玉を、次から次へと鬼に投げつけました。青組とのドッジボールでもその力を発揮し、とてもいい勝負をしています。

青組



紙袋を使って立体的な鬼のお面を製作した子どもたちは、「ひよこ組さんや、さくら組さん、驚くかな？」と鬼に変身。とても楽しそうでした。また、こま回し大会では、これまでの練習の成果を発揮。友達への応援にも力が入っていました。縄跳びも上手になってきました。“1年生になる前に講座”では聴診器で心臓の音を聴き合いました。「ドクン、ドクンと同じ音がする！」と気付いた子どもたちは、きっと友達に優しい1年生になってくれることと思います。